

令和8年度海上の森アカデミー 里山利用コース



山仕事



作陶



野焼き



やきもの



森と暮らしをつなぐものづくり

会場 あいち海上の森センター

対象 高校生以上・定員12名

日程 全5日間コース(全日参加)
2026年12月5日(土)、12日(土)、19日(土)
2027年2月6日(土)、7日(日)

参加費 500円(材料費)

※ただし、受講には傷害保険加入が必須のため、保険料の負担が必要になる場合がございます。

コース の目的

暮らしのための燃料が炭や薪から石油や電気へと置き換わり、便利な物があふれる現代。生活のために山に入る必要性は薄れましたが、そんな今だからこそ、里山には人と自然をつなぐ大切な役割があるのではないのでしょうか。

この講座では、「森と暮らしをつなぐものづくり」を切り口に、里山の魅力や資源活用の可能性について学びます。

これをきっかけに、仕事や趣味、地域でのボランティア活動など、様々な形で里山との関わりを深めていきましょう。

受講者募集

申込期限

11/19(木)

主催：あいち海上の森センター

プログラム

5日間1セットの講座です。(原則全日程参加)

1～4日目:9時30分から15時30分まで、5日目:9時30分～15時まで

参加費:500円(材料費)

※ただし、受講には傷害保険加入が必須のため、保険料の負担が必要になる場合がございます。

2026年
12/5(土)

9:30～12:00

海上の森について

講師 大村 宏
(あいち海上の森センター所長)

海上の森と地域の森林の歴史を、やきものや暮らしとの関わりから学び、里山のこれからを考えます。

13:00～15:30

除伐

広葉樹の除伐を行い、森林の中で木を伐る作業や資源の活用を体験します。
また、除伐した木は、2月6日に行う炭づくりに使います。
※屋外での作業です

2026年
12/12(土)
山仕事 事始め

講師 唐澤 晋平さん
(一般社団法人奏林舎代表理事)

日本の林業や里山を取り巻く現状、間伐材の新たな利用法や地域での取り組みを学びます。
ノコギリを使って木を倒したり、薪割りなど「山仕事」を体験します。
※屋外での作業です



2026年
12/19(土)
やきもの①

(やきもの①～③共通講師)
講師 佐藤 一信さん
(愛知県陶磁美術館館長)
島田篤さん(陶芸家)
鯉江明さん(陶芸家)

瀬戸の里山の歴史や
やきものとの関係を学び、
実際に土をこねて作陶します。

2027年
2/6(土)
やきもの②

やきもの①で作った作品を
「現代風野焼き」によって
焼成します。
※屋外での作業です



2027年
2/7(日) 9:30～15:00

やきもの③・振り返り

野焼きで焼き上げた作品を
窯から出し、鑑賞会をします。
また、講座を通して振り返りを行います。



受講を希望される方へ(申込方法)

申込方法

下記URLもしくは右のQRコードからWebページにアクセスし、申込方法にリンクされた「愛知県電子申請・届出システム」からご応募ください。

URL:<http://www.pref.aichi.jp/press-release/08satoyama.html>



↑申込・詳しい
情報はこちら

申込締切

2026年 11月19日(木)

受講者の決定

申込内容により選考します。受講の可否については、
2026年11月26日(木)までに全員に通知します。

お問合せ先

あいち海上の森センター

〒489-0857 愛知県瀬戸市吉野町304-1 ☎ 0561-86-0606

FAX: 0561-85-1841 メールアドレス: kaisho@pref.aichi.lg.jp

ホームページ:<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kaisho/>

※過去の
受講生さんの
作品です



◎本事業は「あいち森と緑づくり税」を活用しています